



2015年9月25日

各 位

会社名 イオン九州株式会社
 代表者名 代表取締役社長 柴田 祐司
 (コード番号: 2653 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営戦略本部長 榊 隆之
 (電話番号 092-441-0611)

当社の親会社名 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

特別損失(減損損失)の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2016年2月期 第2四半期において、固定資産の減損処理により特別損失を計上することとなりましたのでお知らせするとともに、2015年4月9日に公表した2016年2月期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上

第2四半期累計期間におきまして、固定資産の減損に係る会計基準に従い、店舗の減損損失として7億5百万円を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 2016年2月期 第2四半期(累計)業績予想の修正(2015年3月1日~2015年8月31日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	123,000	△ 1,349	△ 1,250	△ 1,120	△ 59 66
今回修正予想(B)	119,800	△ 2,100	△ 1,950	△ 2,050	△ 109 10
増減額(B-A)	△ 3,200	△ 751	△ 700	△ 930	
増減率	△ 2.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2015年2月期第2四半期)	121,462	△ 1,879	△ 1,275	△ 1,131	△ 60 26

(2) 2016年2月期 通期業績予想の修正(2015年3月1日~2016年2月29日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	246,000	2	300	△ 1,100	△ 58 59
今回修正予想(B)	242,800	△ 750	△ 400	△ 2,000	△ 106 44
増減額(B-A)	△ 3,200	△ 752	△ 700	△ 900	
増減率	△ 1.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	242,164	△ 1,693	△ 1,106	△ 3,608	△ 192 21

修正理由

当第2四半期累計期間では、「九州食べごろ物語」など地元産品の積極的な展開により、農産品などの生鮮品が好調に推移した食料品については売上が前年同期を上回る見込みです。また、健康志向の高まりによりヘルス&ビューティーケア商品が堅調に推移したほか、季節商品では、梅雨明け後の気温の上昇により、水着や浴衣など夏物商品を中心に好調に推移いたしました。

しかしながら梅雨明けの遅れや台風の影響により全般的に売上が伸び悩み、営業収益は前回予想を下回る見込みです。

販売費及び一般管理費では、前年同期より低減できる見込みですが、売上が計画を下回ったことによる売上総利益の減少をカバーするまでには至りませんでした。

このような状況を踏まえ、第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに、計画未達の状況を勘案し通期の業績予想につきましても修正いたします。

2015年8月21日にお知らせいたしました、「イオンストア九州株式会社の事業運営の承継（業務受託）に関する業務委託契約書締結のお知らせ」のとおり、2015年9月1日より、「地元でいちばんうれしいお店へ」をコンセプトに、新生イオン九州としてスタートいたしました。この事業承継により、仕入原価の低減や販促経費などのコスト削減に取り組むことにより、利益の改善を図ってまいります。当社は今後も、九州を、もっとおいしく、もっとたのしくするために、地域の皆さまに愛されるお店作りに努めてまいります。

*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上